

令和元年度 経済環境部 農地利用担当部長の目標宣言

部長メッセージ		経済環境部 農地利用担当部長	松浦 宏聡
<p>本市は、温暖な気候と大都市近郊という立地条件を生かし、水稻、野菜、果樹、畜産など多種多様な農業生産活動が営まれています。農業従事者の高齢化や担い手不足、有害鳥獣による農作物被害などを要因として、農家数の減少や荒廃農地の増加等が懸念されています。</p> <p>このため私は、担い手への農地の集積など各種施策を効率的かつ効果的に実施し、本市の重要な産業である農業の一層の振興を図ります。</p> <p>また、新東名高速道路「伊勢原大山インターチェンジ」の開通が令和元年度中に予定されるなど広域幹線道路の整備が進む中、農地を含め産業用地の創出が求められている現状を踏まえ、農林業と他産業との調和のとれた土地利用の構築及び地域産業の強化に向け、都市部局と連携して取り組んでまいります。</p> <p>これらにより「第5次総合計画後期基本計画」及び「中期戦略事業プラン」の取組を進めます。</p>			
部等の主な役割		部等を構成する課等	
・ 農業振興施策の実施		農業振興課	

部等の取組方針	
1	<p>【各種施策の実施を通じて力強く持続可能な農業の確立を図ります】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良農地の保全と担い手の育成・確保を図るため、農地中間管理機構の活用等を通じた農地の集積・集約化、荒廃農地の再活用及び新規就農者の経営確立支援等を行います。 ・ 有害鳥獣による農業被害等の軽減を図るため、捕獲、被害防護、集落環境整備等に地域とともに取り組みます。 ・ 本市農畜産物の高付加価値化を通じて農業所得の向上を図るため、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のPRや活動支援を行います。
2	<p>【農林業と他産業との調和のとれた土地利用を推進します】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度開通予定の新東名高速道路「伊勢原大山インターチェンジ」周辺地域における産業系市街地形成に向けた取組について、当該地域の営農及び市全域の農業振興への影響等に配慮しつつ、適正な土地利用に向けて関係機関との調整を進めます。

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度実績見込値	令和元年度目標値	令和2年度目標値	所管課
23-102	農業経営基盤強化対策事業	荒廃農地面積	4.9ha (平成29年度)	7.2ha	3.9ha	3.4ha	農業振興課
23-103	有害鳥獣対策事業	野生動物による農作物等の被害額	24,878千円 (平成28年度)	22,390千円	20,151千円	18,136千円	農業振興課
23-104	農畜産物ブランド化推進事業	いせはらブランド選定数	35品目 (平成29年度)	70品目	38品目	40品目	農業振興課

※各年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。